

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県曽根丘陵公園	所管課	都市計画課
所在地	甲府市下向山町1271	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年10月1日
管理方式	指定管理者(富士観光開発・富士グリーンテックグループ、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮していくこと ・良好な緑地景観、環境を提供すること ・歴史文化を学ぶ場を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	方形周溝墓広場(1,554㎡)、芝生広場(8,970㎡)、野外ステージ(748㎡)、パーベキュー施設(603㎡)、歴史植物園(1,695㎡)、日本庭園(4,466㎡)		
主な業務内容	公園施設及び設置器具等の維持保全 県が実施するイベント等への協力		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	御勅使南公園・富士川クラフトパーク
---------------------	-------------------

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	266,150	405,812	298,443	
	利用者数合計	266,150	405,812	298,443	
	目標値	265,000	266,000	269,000	300,000
	目標値設定の考え方	昨年度の実績値を、達成の目標とした。	昨年度の実績値を、達成の目標とした。	博物館で大きなイベントが予定されていない為、昨年度の目標数とした。	昨年度の実績値を、達成の目標とした。
	対23年度比	100.0%	152.5%	112.1%	112.7%
稼働率					

## 4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	63,836,000	63,886,000	63,886,000	65,123,000
	その他	70,650	300,000	77,431	300,000
	収入合計(A)	63,906,650	64,186,000	63,963,431	65,423,000
支出	人件費	13,360,000	12,200,000	13,360,000	13,380,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	49,928,642	51,986,000	50,234,164	52,043,000
	(うち外部委託費)(B)	25,170,729	45,736,000	25,357,489	46,542,000
	支出合計(C)	63,288,642	64,186,000	63,594,164	65,423,000
収支差額(A - C)		618,008	0	369,267	0
外部委託比率(B ÷ C)		39.8%	71.3%	39.9%	71.1%
利用者一人当りの経費		156	237	214	217

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年4月～26年3月、実施方法:公園利用者へのアンケート、 回答数 175人
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
良好な緑地環境の提供	98.0%	0.0%	2.0%	0.0%
遊び、憩いの場の提供	99.0%	0.0%	1.0%	0.0%
施設等	96.0%	0.0%	4.0%	0.0%
安全度	99.0%	0.0%	1.0%	0.0%
接客等	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
各項目の平均	98.4%	0.0%	1.6%	0.0%

利用者の意見	散歩中、公園案内看板が見つげにくい。 遊具広場において、日陰になる場所や水飲み場がほしい。 景観が良く、静かで過ごしやすい。
利用者の意見への対応	特に既存林帯内において、繁茂する竹林の間伐や林縁除草により、明るく見透しを良くすることで、視認性を確保しています。 緑陰については、緑のカーテンづくり等、独自の工夫により確保しています。 水飲みについては、県への要望事項として対応していきます。 林帯整備を施すなかで、景観スポットの創出等、新たな憩いのスペースを配置し、滞在性の確保に努めていきます。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	園内の日常点検を行い不具合が発生していないか確認している。 維持管理業務、安全点検など、適正な管理を行い、園内の景観を良好に保っている。	事業計画書に沿って施設の維持点検や植栽管理が行われている。
運營業務	当公園の特性を十分認識して、緑の空間や遊歩道整備などで幼稚園・小学校・各種団体やバーベキュー場・芝生広場・野外ステージなどの利用したい来園者が円滑に利用できる様に実施した。イベントを開催し公園・施設のPRに取り組んだ。	業務計画書に基づき日常点検・定期点検が行われ、適切に運営管理が行われている。
自主事業	考古博物館、研修センターと協力を行ってイベントを開催することで、利用者の向上をはかった。	提案された自主事業は計画どおり実施された。 当公園の特色を活かし、考古学博物館と連携したイベントが実施されている。
利用状況	イベントや公園の広告を行うことで、公園を多くの人に知ってもらい利用者の増加に努めた。 緑の広い芝生空間や遊歩道や展望広場の整備などをして、利用者数の底上を目標としリピーターの来園者も増加している。	H25年度は、博物館でインカ展等の大規模なイベントが実施されなかったため公園利用者数は減少したが、H23年度に比較して、増加している。
収支状況	直営による管理を行なうことで、経費節減に取り組んだ。	植栽管理の一部を直営で行うことにより、経費削減に努めている。
利用者満足度	緑地管理を効率よく行って景観を良好に保っていることが満足度に反映された。反面、満足でない利用者の意見を参考にして改善を行うことが必要である。	アンケート結果は、全体的に高い満足度が得られている。 今後も利用者の意見を反映させることで、高い満足度を維持できるようにすること。
運営目標の達成状況	<p>運営目標の指標</p> <p>公園利用者数 目標値 269,000人 実績値 298,443人</p> <p>公園利用者数は目標値を上回り、目標を達成できた。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>伐木や剪定を積極的に行うことにより、公園利用者の安全性や利便性の向上に努めている。</p> <p>利用者の定着化、リピーターの確保を行い、園内施設の利用や自然に親しんでもらえるよう、季節ごとのイベントを定着させていくことで、利用者の増加に努めること。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>園内の状況を確認して樹木等で死角がない様、スタッフで早い段階に剪定及び草刈を行い安全確保に努めた。</p> <p>毎年考古博物館と連携してイベント等を開催することにより、公園を周知するとともに、植栽管理、芝生管理を徹底し、利用者が安全に遊具広場やバーベキュー場を利用できる環境を整えることで来園者の増加につなげている。また施設・設備の修繕を迅速に対応し安全確保をすることで利便性の向上を行った。</p>	

7. 管理体制(組織図)

